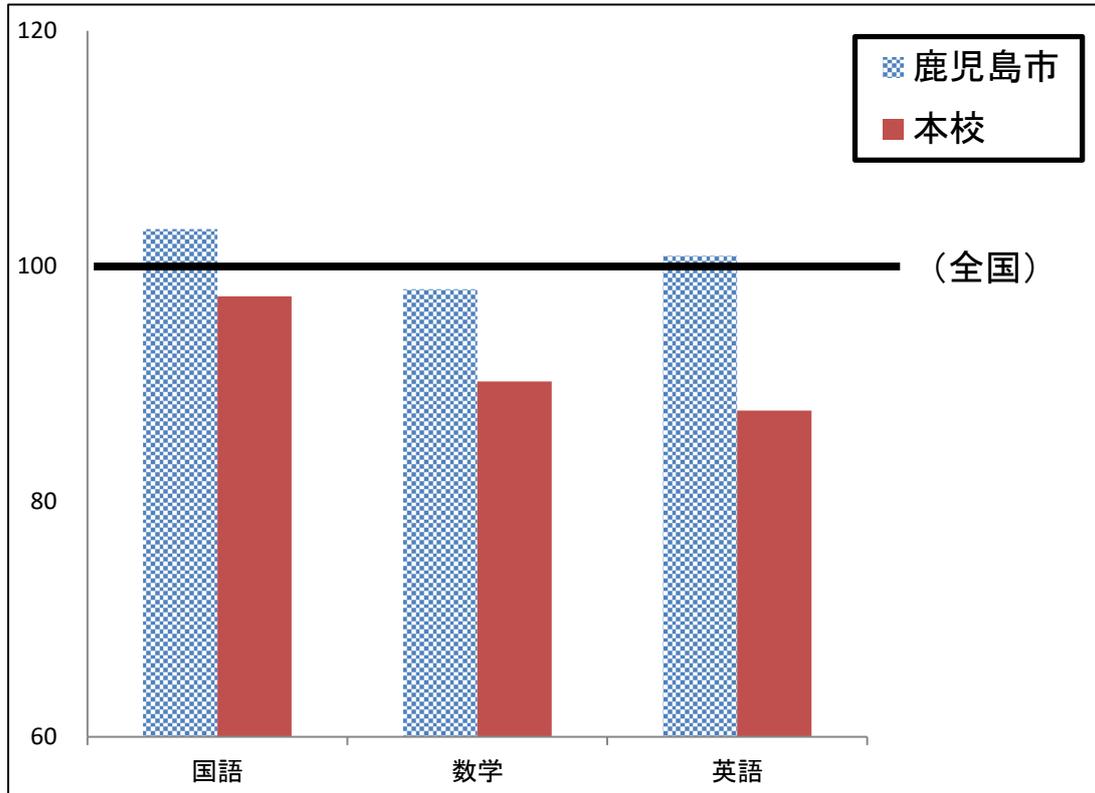


令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

鹿児島市立福平中学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

(国語)

言葉の特徴や使い方に関する事項については、全国平均を上回る正答率となっています。「話すこと・聞くこと」領域においても平均を上回っていますが、「書くこと」にはやや苦手意識を持っているようです。日常的に「書く」習慣を身に付けさせるのは勿論のこと、学習活動のなかでも意識的に「書く」活動を取り入れていきたいと思ひます。

(数学)

分配法則を使った計算と四分位範囲を求める問題は全国平均を上回る正答率であり、最後の問題まで挑戦しようとする意欲がみられました。しかし数学的に説明する問題の無解答率が約3割にのぼるので、基礎・基本の学習内容を計画的に復習することや、根拠を明らかにして説明する場面を授業に取り入れることを計画的に取り組んでいきたいと思ひます。

(英語)

思考力・判断力・表現力を要する問題はもちろん、基本的な知識を必要とする問題に対しても課題が残りました。特に書くことを中心とした、表現力の強化が急務であると思ひます。既習表現の確認と英作文を中心とした言語活動は、日々の帯活動として取り入れていきたいと思ひます。

(全体的に)

生徒質問紙の結果より本校の生徒は基本的な生活習慣を身につけ、将来の夢や希望を持って生活しているが、家庭学習の習慣が身につけていない生徒が多いことに課題が見られました。学校では、家庭学習の充実につながるような授業や課題の工夫を行ってまいりますので、ご家庭での協力と見届けをお願いします。